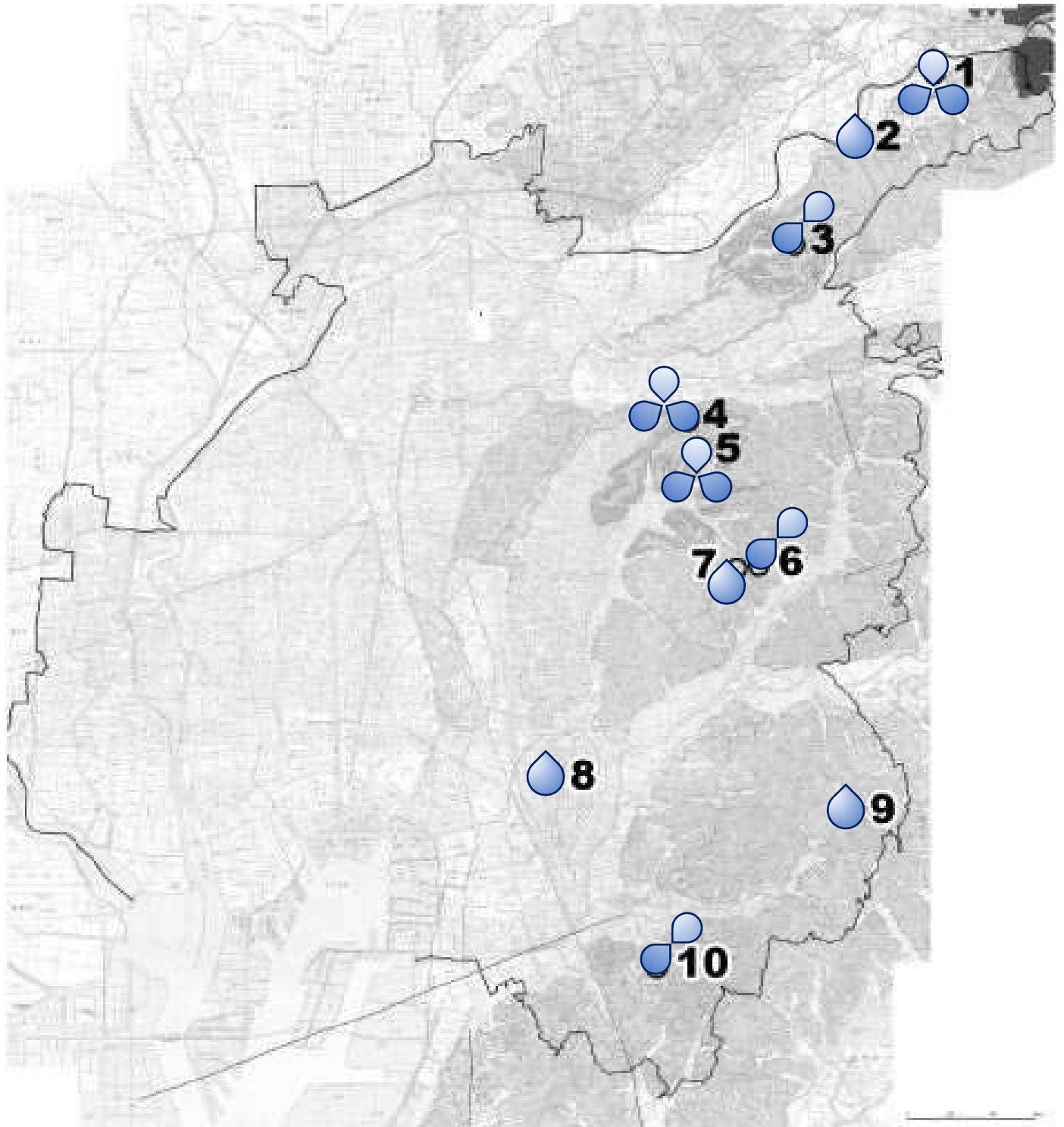


令和4年度冬季結果まとめ

No.	地点名	調査日	調査時刻	気温 (℃)	天気			水量			水温 (℃)	pH	COD (mg/L)	硝酸態窒素 (mg/L)	鉄 (mg/L)	マンガン (mg/L)
					当日	前日	前々日		計量できる場合 (mL/min)							
1	中志段味	1月21日	10:00	6.5	晴	晴	晴	1	多量	—	16.6	5.5	3	0.2	0.1	0.0
2	吉根	2月12日	14:34	18.1	雲	晴	雨	3	しみ出し 程度	266	15.8	6.0	2	<0.2	<0.2	<0.5
3	小幡緑地	1月4日	15:20	4.0	雲時々晴	晴	晴時々曇	2	小流れ	2,308	4.0	6.0	4	<0.2	<0.2	<0.5
4	茶屋が坂	12月3日	12:20	9.5	晴	晴	晴	1	多量	5,454	16.2	6.5	0	2.0	5.0	0.5
5	本山	2月23日	9:15	11.0	晴	晴	晴	1	多量	3,750	12.0	5.8	1	2.0	0.0	0.0
6	東山	2月15日	10:30	4.0	晴	晴	雲	2	小流れ	280	9.5	5.5	0	0.0	0.0	0.0
7	八事裏山	2月23日	11:10	7.5	雲のち晴	晴	晴	3	しみ出し 程度	—	7.0	5.5	>8	0.2	0.5	0.0
8	呼続	1月9日	9:30	7.0	晴	晴	晴	3	しみ出し 程度	—	9.0	7.0	6	0.5	0.2	0.5
9	神の倉	2月7日	12:40	13.7	晴時々曇	晴	晴	3	しみ出し 程度	—	8.8	6.5	0	<0.2	<0.2	<0.5
10	大高	2月9日	8:40	7.0	晴	曇時々晴	晴時々曇	2	小流れ	2,300	12.0	5.5	2	0.8	0.2	0.5

No.	地点名	コメント
1	中志段味	メダカが池にも流れにもいる。日当たりの良くない流れにミクリがない。
2	吉根	・湧出箇所は、前回と比べて、清掃されている感じがした。藻が繁茂している状況ではありませんでした。採水は、湧出箇所を洗う前と後と2回実施して、それぞれパックテストしましたが、変化はありませんでした。 ・周辺の住民の方が、来られて、最近にこの箇所の湧出量が少なくなった事について、同じような認識でした。 ・近くには、湧き水で、沢山流れている民家がある様です。
3	小幡緑地	年末の大雪以降は晴天が多かったためか、水量はかなりすくなく13秒かかりました。集水口は落ち葉に埋もれていて何も見えませんでした。その他に特に変わりはありませんでした。
4	茶屋が坂	
5	本山	水量は変わらず多い。硝酸態窒素が、これまでで最大。水温がこれまでで一番低かった。
6	東山	ぬかるんでいる地面が少ないなと思ったら、水量が極端に少なくびっくりしました。金明水の近くの木が根元から折れてました。鳥の声が聞こえてきました。
7	八事裏山	林道はやや乾いており、常緑樹、落葉樹が混交していた。落葉も多かった。水量はかなり減少しており水位が低かった。調査地点から少し離れたところに幼樹の群落があった。
8	呼続	乾燥した日が続いている。落ち葉がすごく、水の流れは確認できない。
9	神の倉	〈湧水量について〉 A部からの水滴の落下は、a部全般にわたって観察された。定量的な比較は難しいが、これまでで最も多く感じた。目視で確認できる水滴の落下以外に15秒で20回程の落下音が聞こえたが、落下場所の特定はできなかった。B部からの水の流出については、今回も水滴の落下がみられず、水が流れ出る音も確認できなかった。ただ、苔の状態は青々としており十分な水が供給されていると思われる。御手洗場の水位も先回から顕著な変化はみられず、前述の通りA部からの湧水が増えた感じがするが、その分流出も多くなっているものと思われる。 実際、堰の下部のC部にたまっている水の量は増えているように見える。 〈水温について〉 特筆すべきことはない。 
10	大高	



 : 多量

 : 小流れ

 : しみ出し程度

 : なし